

いつ
でも

No.3 宇治の社寺と

黄檗山萬福寺をめぐる

自然

歴史

古道

世界遺産

おすすめポイント

江戸時代の初め「インゲン豆」を日本に伝えた中国の僧、隠元禅師によって開かれた黄檗宗の萬福寺は、広い境内に龍をかたどった伽藍が建ち並び、珍しい仏像にも出会えます。萬福寺から、昔の面影を残す古道を通り、宇治へと向かいます。平安貴族たちが風光明媚な宇治の地を憩いと安らぎの場とし、時の権力者藤原道長の子頼通によって建立された世界遺産 平等院、宇治上神社は、千年の時を経て今に当時の優美な姿を残しています。ちょっと贅沢な社寺を巡るコースです。

J
R
黄
檗
駅

萬
福
寺

安
養
寺

巖
島
神
社

旧
家
長
屋
門

宇
治
上
神
社

平
等
院

J
R
宇
治
駅

ここに注目



●摩伽羅（萬福寺総門）

牌楼式の萬福寺総門屋根の棟飾り、ガンジス川を女神を乗せて渡るといわれる摩伽羅像。

魔よけとも言われるが、鯉が龍になるように、修養を積み、徳ある高僧ともなれる道場のシンボルの意であろうか。



●平等院（十円硬貨）

みんなが大切に持っているポケットの中の世界遺産

「10円硬貨」には、平等院の鳳凰堂が刻まれている。

改めて、手にとってじっくり見比べてみては。

1951（昭和26）年に発行された。

